

付録：資料編（添付CD-ROM）

添付のCD-ROMを開き、index.htmlをクリックすると、以下の画面が表示されます。
ご覧になりたい項目を選び、クリックして閲覧して下さい。

■新潟県災害に係る質疑応答集

(平成17年1月 関東信越税理士会 新潟県災害対策特別委員会)

[全ページ版]

 [全ページ](#)

[分割版]

 [解説編](#)

 [質疑応答編](#)

 [参考資料編](#)

■災害関連資料

 [雑損控除・災害減免法を受けられる方へ](#)

 [雑損控除の計算と確定申告書の記載例（1）
（便宜的な損失額の計算）](#)

 [雑損控除の計算と確定申告書の記載例（2）
（便宜的な損失額の計算）](#)

 [住宅・家財等の損失額の算定方法について](#)

見たい項目をクリックすると表示されます。

編集後記

新潟県は、2004. 7. 13新潟豪雨、2004. 10. 23中越地震、2007. 7. 16中越沖地震と僅か3年の間に3つの災害が発生した。税理士事務所も例外なく被災したが、直後の混乱から再開を果たし、自らの復興と被災者の支援活動に邁進し今日に至っている。私達にとって、この災害は極めて不幸なことであったが、それ故に後世に貴重な教訓を含んでいるものと考え、この未曾有の災害経験を記録に残すことに価値を見出し、また支援をいただいた各地の方々に伝えたいと考えた次第である。すでに類書は各団体・各業界から出版されているが、税理士界の記録は私達が残す他はない。税理士はこの災害で何を体験し、何を感じたのか。被災地の納税者にどのように係わるのができたのか。このような趣旨から、「災害資料集作成小委員会」を立上げ、関連する県連各部長及び災害当時の支部長を構成員として資料収集等に努めた。回顧録では、当時の支部長・支部会員並びに所轄の税務署長の協力を得て作業を進めた。資料編では、災害税務研修から支部間応援の記録と雑損控除関係研修資料を載せ、貴重な税務資料となると考える。編集に携わった会員諸兄には、自らの復興と地元・関与先納税者の支援という困難の中で、ご苦勞をおかけしたことに心より敬意を表し、写真及び資料提供をいただいた関係者にもあわせて感謝申し上げたい。また本資料集の出版を引受けていただいた株式会社第一印刷所の佐藤文和様には、ご無理なお願いにも関わらず誠心誠意おつき合いいただき、無事発刊に至ったことに心より謝意を表する次第である。表題の「3つの災害を乗り越えて」は、被災地の人々の心の軌跡です。本資料集が災害の心得の一助になれば編集に携わった者として望外の喜びである。最後に、この3つの災害で亡くなられた多くの方々に心よりご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様の一日も早い復興を祈念致します。

藤本義一郎 記

災害資料集作成小委員会

委員長	高橋 潔	(副会長)
副委員長	藤本 義一郎	(専務理事)
委員	金子 英明	(総務部長)
	高野 裕	(広報部長)
	武石 春雄	(税務支援対策部長)
	土田 隆	(会報部長)
	齋藤 嘉一	(企画部長)
	長谷川 治	(総務副部長)
	関根 朝秋	(平成16年度三条支部長)
	古川 和夫	(平成16年度長岡支部長)
	大竹 一夫	(平成16年度小千谷支部長)
	水落 信市	(平成16年度十日町支部長)
	森山 昭彦	(平成19年度柏崎支部長)

写真及び資料の提供について

新潟県、長岡市、三条市、柏崎市、新潟日報社、日本経済新聞社、
新潟県内税理士会員よりご提供いただきました。

3つの災害を乗り越えて

平成16年(2004年)新潟・福島豪雨、平成16年(2004年)新潟県中越地震、
平成19年(2007年)新潟県中越沖地震の記録

平成20年 9月

編集・発行 関東信越税理士会 新潟県支部連合会
〒951-8114 新潟県新潟市中央区営所通2番町692番地36
新潟県税理士会館内

TEL 025-225-2202 FAX 025-225-5499

制作・印刷 株式会社 第一印刷所

1,800部

